

2026 年 9 月 10 日

各 位

株式会社 西 京 銀 行
取締役頭取 松 岡 健

ざいつ内科クリニックさまによる「SDGs 宣言」策定について

西京銀行は、持続可能な社会の実現に向け、地元企業さまの SDGs への取組みをサポートする「さいきょう SDGs コンサルティングサービス」の提供を行っています。

このたび、当サービスを通じて、ざいつ内科クリニック（本社：山口県山口市 院長 財津 謙）さまが SDGs 宣言を策定されましたので、お知らせします。

企業概要

会 社 名	ざいつ内科クリニック
所 在 地	山口県山口市小郡明治一丁目 13 番 14 号
代 表 者	財津 謙
SDGs への取組み	当院は、最新の医学知識と検査体制を活かし、患者様一人ひとりに適した医療を迅速に提供するとともに、院内検査機器の充実により、多くの検査結果を当日中にお伝えしています。常に科学的根拠に基づく診断を行い、患者様に安心と笑顔をお届けします。 また、医療従事者が安心して働き続けられるよう処遇改善に努めるとともに、患者様へ質の高い医療を提供するため、職員の知識やスキルの向上をサポートしています。さらに、家庭行事を優先できるなど、職員一人ひとりの事情に寄り添い、ワークライフバランスを重視した働きやすい職場環境を整えています。
U R L	https://www.zaitsu-naika.com/

※ ざいつ内科クリニックさまの SDGs 宣言については、別紙をご参照ください。

西京銀行は、引続き地元の課題解決ニーズに幅広く、きめ細かくお応えし、「地域の皆さまのお役に立つ銀行」を目指してまいります。

◆本件に関するお問い合わせ

西京銀行 ビジネスコンサルティング部（担当：木林）

TEL：070-7575-2294



ざいつ内科クリニック SDGs宣言

当院は、『地域の皆様の安心と笑顔の為に』という経営理念のもと、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、事業活動を通じて地域の課題解決と持続的な成長に貢献してまいります。

2026年9月10日
ざいつ内科クリニック
院長 財津 謙

当社のSDGsへの貢献

確かな診療、最新の医療、安心の提供

最新の医学知識と検査体制を活かし、患者様一人ひとりに適した医療を迅速に提供するとともに、院内検査機器の充実により、多くの検査結果を当日中にお伝えしています。常に科学的根拠に基づく診断を行い、患者様に安心と笑顔をお届けします。

【主な取り組み】

- AIを活用したコンピュータシミュレーションによる薬剤使用の研究
- アロステリックのメカニズムを解明し特許を出願
- HPを通じて各症状の医学的見解・研究成果を公表



環境への配慮と徹底した感染対策

環境への負荷を軽減するため、LED照明や省エネ機器、再生紙の活用に取り組んでいます。また、院内感染対策マニュアルに基づき職員全員で感染予防を徹底するとともに、感染疾患専用の診察室を設置し、院内感染のリスクを最小限に抑える環境を整えています。

【主な取り組み】

- LED照明や省エネ機器、再生紙の活用
- 院内感染対策マニュアルに基づく職員全員での感染予防
- 感染疾患専用の診察室の設置

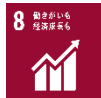


医療従事者の学びと成長を支える職場

医療従事者が安心して働き続けられるよう処遇改善に努めるとともに、患者様へ質の高い医療を提供するため、職員の知識やスキルの向上をサポートしています。また、家庭行事を優先できるなど、職員一人ひとりの事情に寄り添い、ワークライフバランスを重視した働きやすい職場環境を整えています。

【主な取り組み】

- 専門資格「糖尿病療養指導士」取得費用の補助
- クリニック負担で研修及び勉強会への参加
- ワークライフバランスを重視した働き方の支援



地域の健康と医療を支える取り組み

地域のスポーツチームへの寄付を通じて、運動による健康増進を支援するとともに、地域の基幹病院や医師会との連携を深め、地域医療体制の充実に努めています。また、薬剤の有効成分名で処方する一般名処方を採用し、医薬品の安定的な供給を通じて、地域の皆様の健康維持に貢献します。

【主な取り組み】

- 地域のスポーツチームへの寄付
- 地域の基幹病院や医師会との連携
- 一般名処方の採用による医薬品の持続的供給



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。